

## 4～6月期は前期比0.3%成長、 足元の景気に足踏み感

### 欧州経済

- 2024年4～6月期のユーロ圏実質GDP（域内総生産）は前期比+0.3%となり、成長率は1～3月期と同じとなった。
- 5月の鉱工業生産と建設活動は低迷し、輸出(原数値)も前年割れとなった。6月の小売売上高指数も低下しており、ユーロ圏経済は内外需ともに冴えない動きとなっている。
- 6月に利下げが実施されたことを受け、企業向け貸出には底入れの兆候がみられる。
- 7月の消費者物価上昇率は幾分加速した。ここにきて物価の安定化の動きがやや停滞していることを受け、7月18日にECB（欧州中央銀行）は、主要政策金利を据え置いた。
- 7月のユーロ圏の総合PMI（購買担当者景気指数）は50.2と好不況の判断基準となる50の近くに低下した。ユーロ圏の景気は、足踏み感がみられ始めている。

本レポートの目的は情報提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づく浜銀総合研究所・調査部の見解であり、レポート発行後に予告なく変更することがあります。また、本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に際しては、お客さまご自身の判断にてお取り扱いいただきますようお願いいたします。



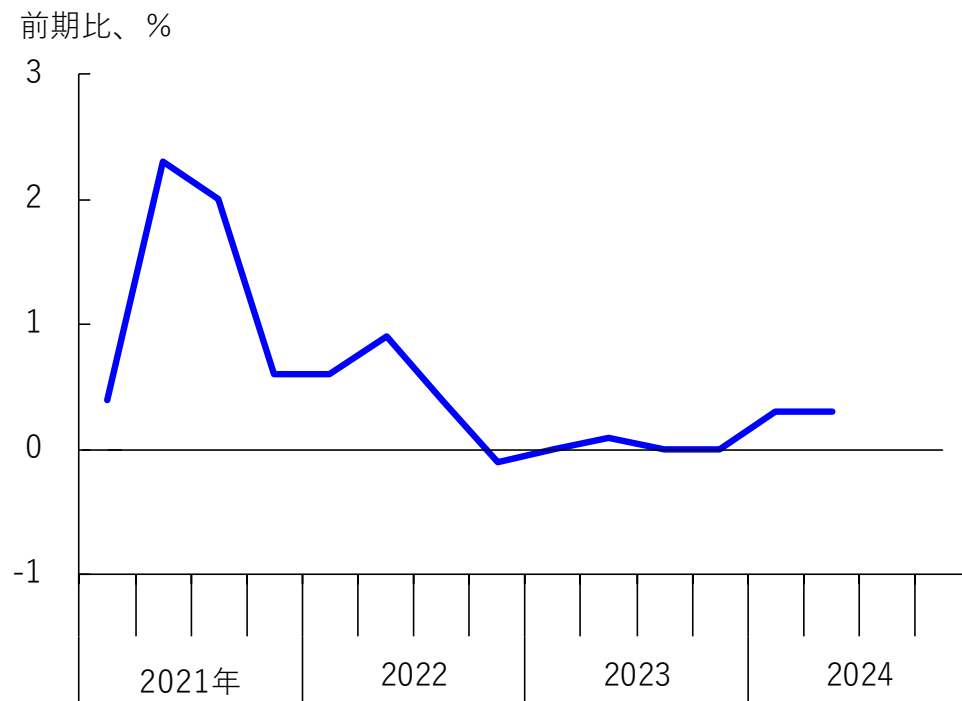
横浜銀行グループ

浜銀総合研究所



- 2024年4~6月期のユーロ圏実質GDP（域内総生産）は、事前予想を若干上回る前期比+0.3%に。1~3月期と同じ伸びとなった。
- 各国別ではスペインが前期比+0.8%、フランスが同+0.3%と事前予想を上回った。一方、ドイツはインフレが高止まりするなかで設備投資が低迷し、同-0.1%と予想外のマイナス成長となった。
  - フランスはクルーズ船の輸出が計上され成長率が上振れした。近年、成長率の変動が激しいアイルランドが前期比+1.2%と高成長を記録した。

ユーロ圏実質GDP



出所：欧州委員会統計局

ユーロ圏主要国の実質GDP

季調済、前期比、%

	2023年		2024年	
	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月
ユーロ圏	0.0	0.0	0.3	0.3
ドイツ	0.2	▲ 0.4	0.2	▲ 0.1
フランス	0.1	0.4	0.3	0.3
イタリア	0.3	0.1	0.3	0.2
スペイン	0.5	0.7	0.8	0.8

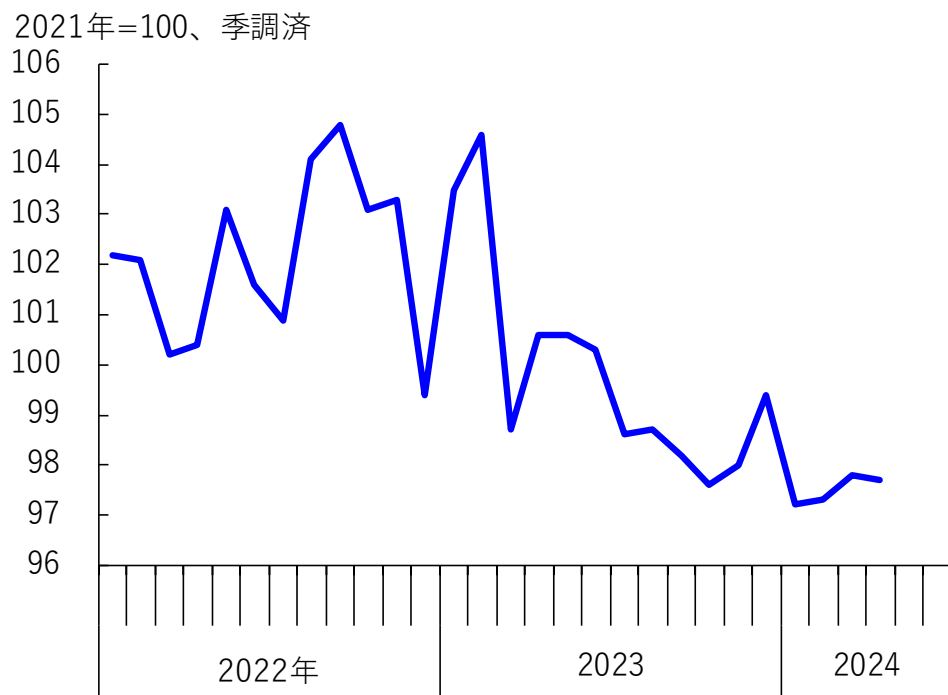
注:2024年4~6月期は速報値。

出所：欧州委員会統計局



- 5月のユーロ圏鉱工業生産指数は前月比-0.6%と低下した。財別には耐久消費財の生産が同-1.8%、資本財が同-1.2%と落ちこんだ一方、非耐久消費財は同+1.6%と増加した。
  - 国別の指数をみると、ドイツ（前月比-2.4%）とフランス（同-2.1%）の生産が大きく落ち込んだ。
- 5月のユーロ圏建設活動指数は前月比-0.9%と、3か月連続で低下した。
  - 主要国ではドイツ（前月比-3.3%）とフランス（同-1.0%）が低下した一方、スペイン（同+0.3%）が上昇した。

ユーロ圏鉱工業生産指数



出所：欧州委員会統計局

ユーロ圏建設活動指数



出所：欧州委員会統計局

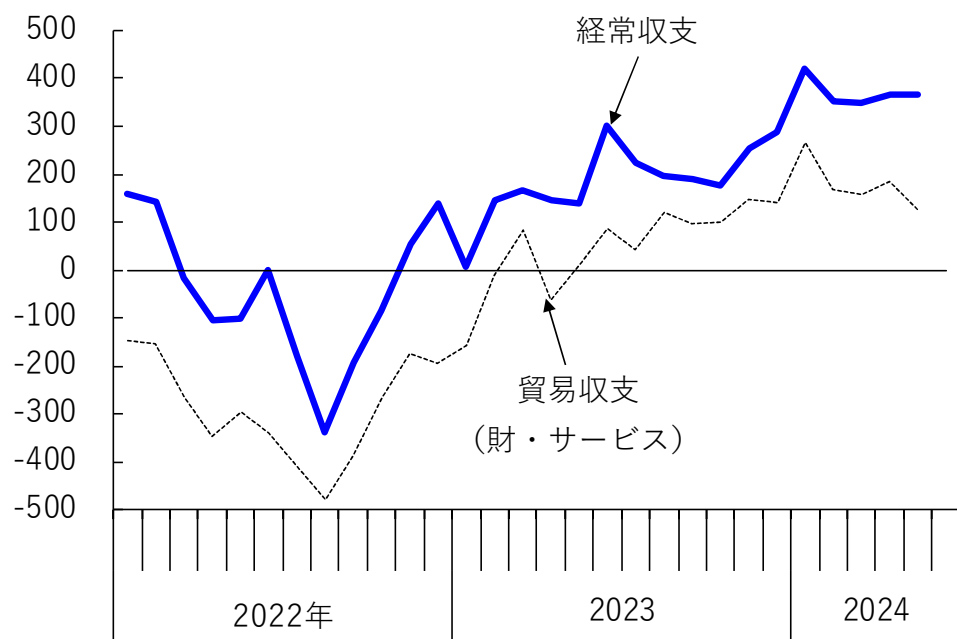


- 5月のユーロ圏の経常収支（季調値）は367億ユーロの黒字となり、前月から横ばいとなった。
- 5月のユーロ圏の財の輸出（原数値）は前年比-0.5%と、前月の同+13.5%から減少に転じた。財の輸入は同-6.4%となった。

－5月は機械と乗用車の輸出が減少した。

ユーロ圏経常収支

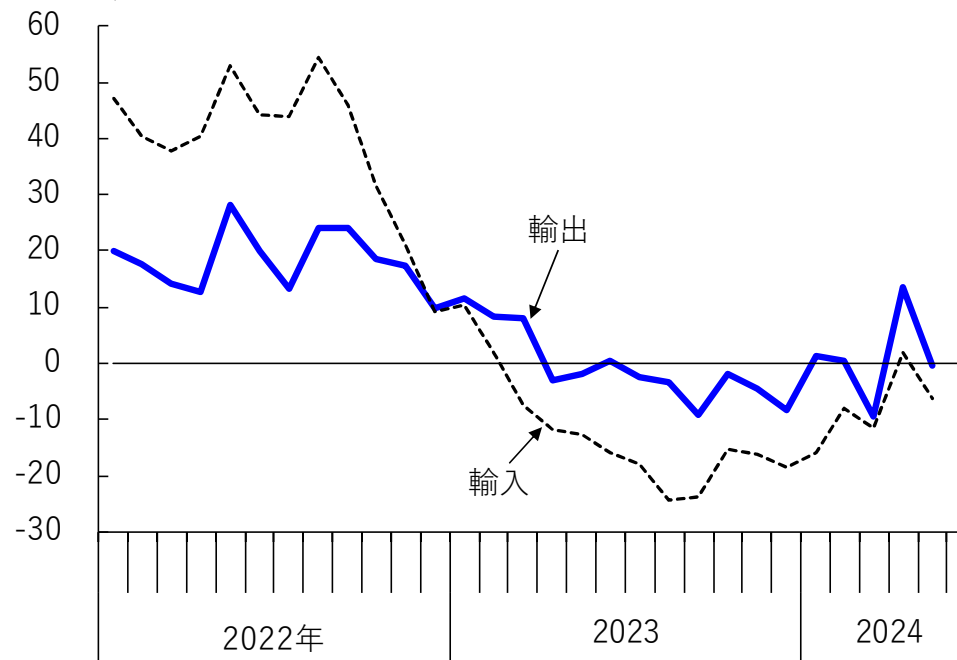
億ユーロ、季調済



出所：欧州中央銀行、欧州委員会統計局

ユーロ圏の財の輸出入

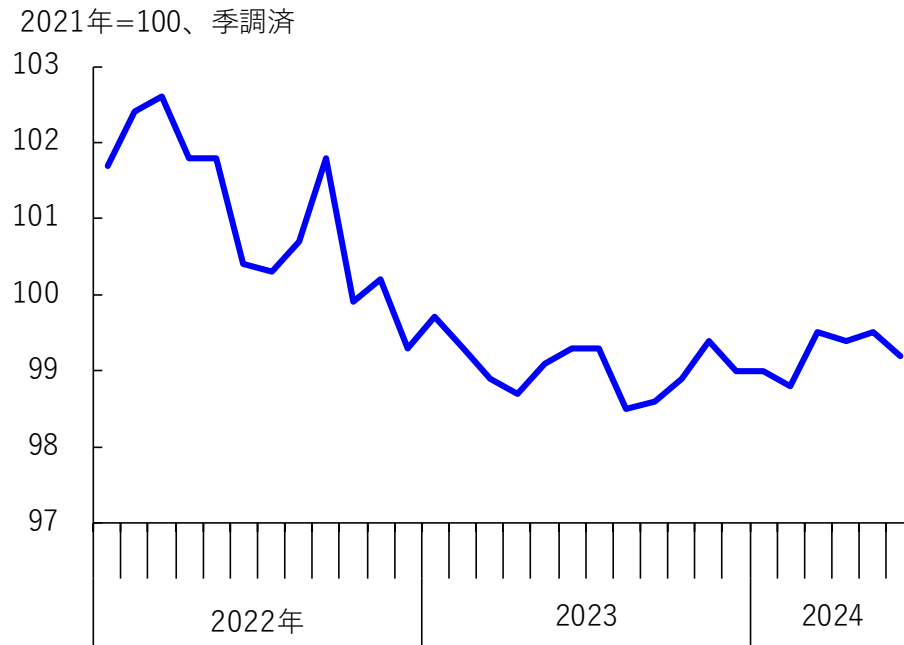
前年比、%



出所：欧州委員会統計局

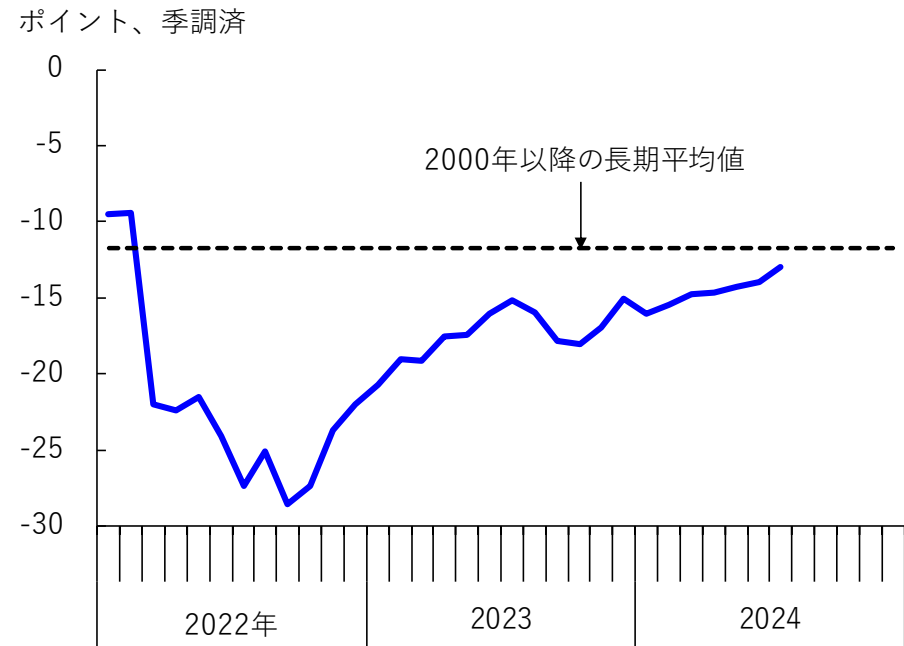
- 6月のユーロ圏小売売上高指数は前月比-0.3%と減少に転じた。
  - 食品・飲料・たばこが前月比-0.7%と大きく落ち込み、非食品（自動車燃料を除く）も同-0.1%と減少した。一方、自動車燃料は同+0.5%と増加した。
- 7月のユーロ圏消費者信頼感指数は-13.0と、6か月連続で改善した。
  - 雇用所得環境の改善が消費者心理に好影響をもたらしていると考えられる。

ユーロ圏小売売上高指数



出所：欧州委員会統計局

ユーロ圏消費者信頼感指数



出所：欧州委員会



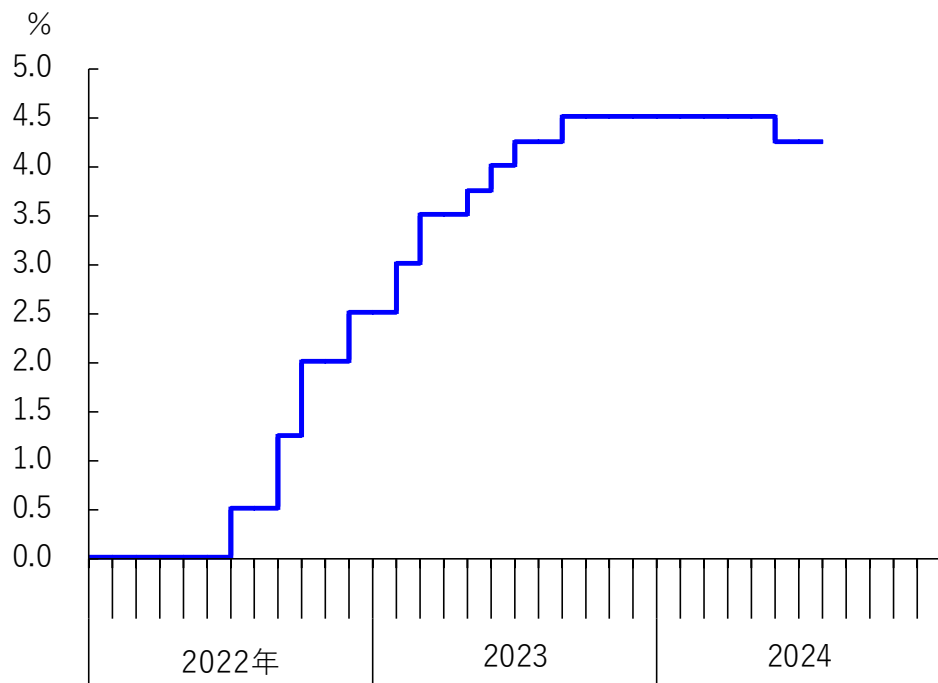
- 7月18日、ECB（欧州中央銀行）は、主要政策金利の据え置きを決定した。

ラガルドECB総裁は、次回9月会合での政策の方向に関して、「何も決まっていない」と述べ、市場に示唆を与えることを避けた。ユーロ圏経済は、景気の減速が鮮明になる一方で、このところインフレの減速の動きが中断している。9月に利下げが実施されるためには、物価安定の動きが継続していることを裏付けるデータが必要であろう。

- 6月のユーロ圏の貸出残高は、企業向けが前年比+0.7%と、前月の同+0.3%から伸びが高まった。一方、家計向けは同+0.3%と、伸び率は前月から横ばいとなった。

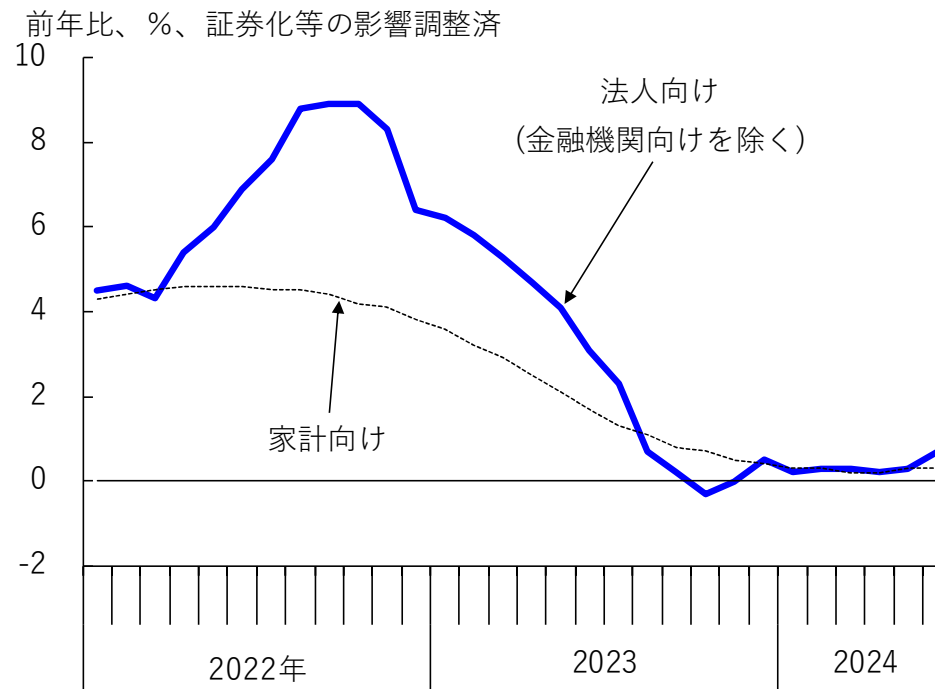
6月に利下げが実施されたことを受け、企業向け貸出には底入れの兆候がみられる。

ユーロ圏の政策金利



出所：欧州中央銀行

ユーロ圏貸出残高

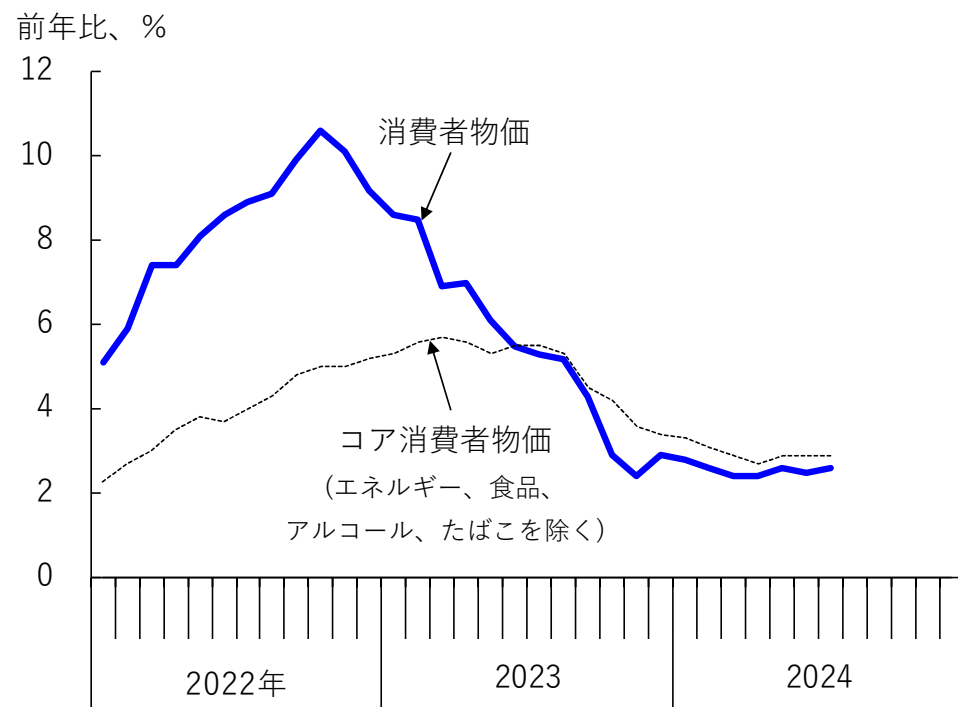


出所：欧州委員会統計局



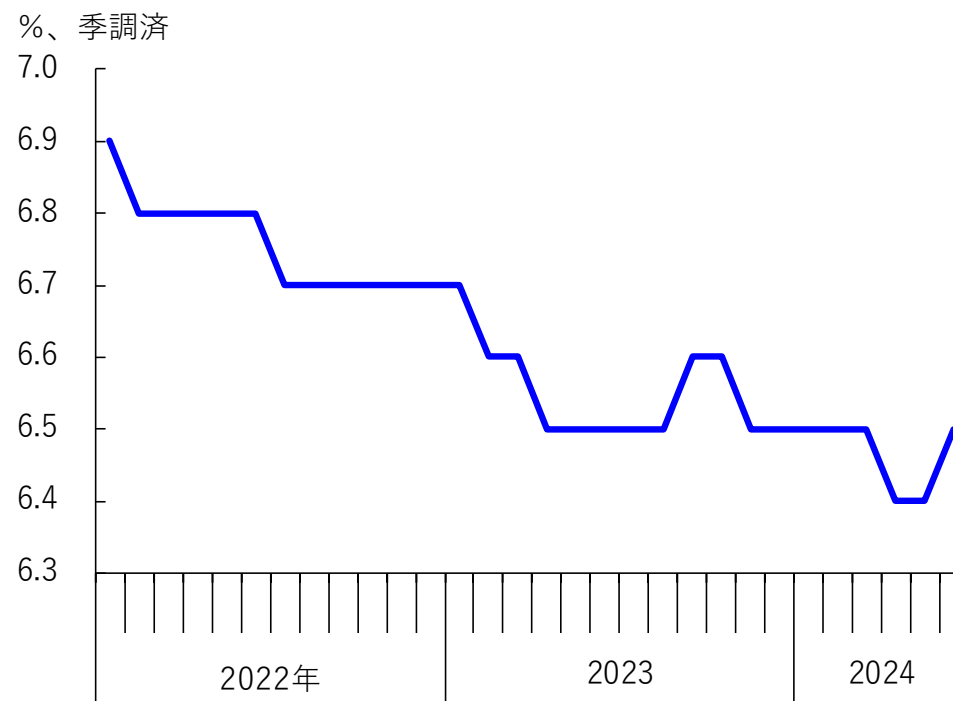
- 7月のユーロ圏消費者物価指数上昇率（速報値）は前年比+2.6%と、6月の同+2.5%から幾分加速した。エネルギー、食品、アルコール、たばこを除くコア指数は同+2.9%と、前月と同じ伸びとなった。  
 -財のディスインフレが一巡する一方、サービス物価の上昇率は前年比+4.0%と前月の同+4.1%から若干低下したものの、高止まりした。
- 6月のユーロ圏の失業率は6.5%と、前月の6.4%から上昇した。

ユーロ圏消費者物価指数



注:2024年7月は速報値。  
出所：欧州委員会統計局

ユーロ圏失業率

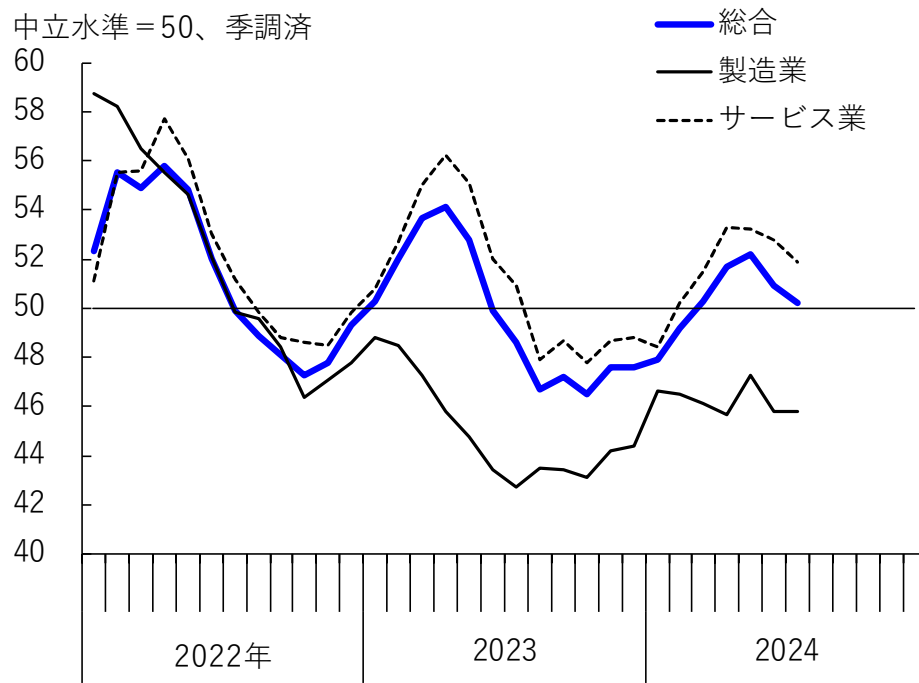


出所：欧州委員会統計局

- 7月のユーロ圏の総合PMI（購買担当者景気指数）は50.2と、6月の50.9から低下した。製造業のPMIは生産の低迷などから45.8と前月から横ばいとなった。需要の低迷を背景に、サービス業も51.9と前月の52.8を下回った。
- 7月の各国別の総合PMIは、製造業の生産の落ち込みなどからドイツが49.1と好不調の判断基準となる50を下回った。フランスは五輪効果などを背景にサービス業が持ち直し、7月は49.1と前月の48.8から上昇した。

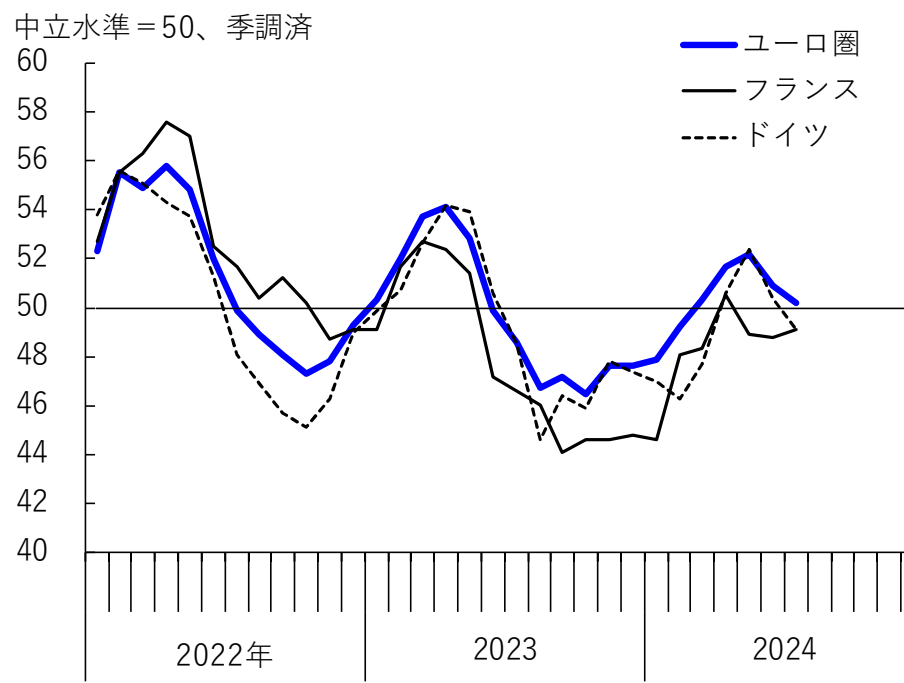
※ユーロ圏PMIの正式名称は、HCOB（ハンブルク商業銀行）ユーロ圏PMI。

ユーロ圏のPMI



出所：S&Pグローバル

主要国のHCOB総合PMI



出所：S&Pグローバル





## 浜銀総合研究所



2024年8月9日  
調査部 特任研究員  
金子 修

浜銀総合研究所では、景気動向に関するレポートなどの発行情報をメールにてお知らせしています。ご関心のある方は、下記のサイトより、「レポート更新情報お知らせメール」（無料）にご登録ください。

【URL】 [https://www.yokohama-ri.co.jp/html/inquiry/inquiry\\_repo.html?nno=5](https://www.yokohama-ri.co.jp/html/inquiry/inquiry_repo.html?nno=5)